

回覧

交通安全会だより

渋川市北橋地区交通安全会 令和8年7月発行



皆様、こんにちは。ヒマワリの花が似合う7月。本格的な夏本番までもう少しです。さて、今年の春には上信自動車道の渋川西バイパスが開通し便利になりました。しかし、ひき逃げ事故が発生するなど大きな交通事故があり、尊い命が奪われました。事故は加害者になっても被害者になっても大変なことです。子どもたちが安心して登下校できる町、高齢者がのんびり散歩できる町になるように、北橋地区交通安全会では微力ではありますが、今年も交通安全運動の活動に取り組んでいます。



7月11日からは夏の県民交通安全運動がはじまります。交通安全を意識して「ゆとりと思いやり」を持った車の運転を心がけてほしいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

夏の県民交通安全運動

年間スローガン
サブスローガン
運動期間

「運転は 心とアクセル おだやかに」
「曲がり角 見えない危険が かくれんぼ」
令和8年7月11日(土)から20日(月)までの10日間

運動重点① 自転車の関係する出会い頭事故の防止

自転車は

- 自転車の交通ルールを守って、自分を守りましょう。
- 交差点では「きっと出てくる」と考えて、よく見て慎重に進みましよう。
- 昼間でもライト点灯することで、自分を目立たせましよう。
- ヘルメットの着用は安全運転の第一歩、きちんと着用ましよう。



自動車は

- 一時停止場所では停止線手前で確実に停止ましよう。
- 交差点では「きっと出てくる」しっかり停止、しっかり確認。
- 左から来る自転車を意識した安全確認を心がけましよう。
- 心と時間にゆとりをもった、思いやり運転を心がけましよう。

運動重点② こどもと高齢者の交通事故防止

こども・高齢者は

- 道路へは飛び出さない、道路では遊ばない。
- 道路の横断は、信号のある場所や横断歩道を渡りましよう。
- 青信号でも、周りの車に注意して横断ましよう。



運転者は

- 横断歩道の近くでは速度を落とすして走りましよう。
- 横断歩道等で歩行者等がいるときは、必ず止まって譲りましよう。
- 規制速度を守って、スマートフォン等を使用しながらの運転や、あおり運転は絶対にやめましよう。

令和8年度交通安全会の活動が始まりました！

①春の全国交通安全運動期間に街頭指導を実施 4月6日(月)～4月15日(水)

小中学生の登校時間にあわせ、交通指導員さんととともに北橋地区内16ヶ所の交差点で実施している朝の街頭指導。写真は大正橋交差点(左)と八崎第二五叉路(右)の様子。



②交通安全運動期間における啓発活動
4月11日(土)にショッピング作戦

Aコープ北橋店にご協力いただき、買い物に来たお客様に交通安全の啓発品を配布し、交通安全運動への協力を呼びかけました。



③横断旗箱の設置や交換
4月に本部役員で横断旗箱設置

真壁下のセブンイレブン近くの横断歩道の横断旗箱を交換するとともに、反対側に新しい箱を設置しました。



④令和8年度渋川市北橋地区交通安全会定期総会を実施

来賓に北橋町の各自治会長様、渋川警察署長様、渋川交通安全協会会長様を迎え、4月21日(火)に令和8年度の定期総会を実施しました。まず、令和7年度の事業報告と収支決算報告が承認されました。次に、本年度の事業計画書及び収支予算案も承認され、本年度の活動が無事スタートできました。また、後半には北橋駐在署の樺澤様より交通講和を実施していただき、昨年度の交通事故の発生状況や朝の交通安全運動の大切さなどをお話いただきました。関係者の皆様にはお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。



——— 自転車にも「青切符」16歳以上が対象 ———

4月1日より改正道路交通法が施行され、自転車の違反に対して交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が導入された。警察官が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には「指導警告」が行われる。新制度ではスマホを使用しながらの運転や、警報機が鳴っている踏切に立ち入る行為などの悪質・危険な違反は警告なく検挙の対象になる。青切符の導入は事故抑止が目的。自転車運転中にスマホを使う「ながら運転」は反則金1万2千円、信号無視は6千円などで、16歳以上に適用される。(上毛新聞の記事より引用)



4月の街頭指導の際に気づいたのは、自転車を利用している高校生が以前よりヘルメットをしっかりと着用したり、歩道を走らず車道の左側を一行で走ったりする姿が多く見られました。停止していた高校生に聞くと、学校でも自転車の乗り方についての指導が行われているとのことでした。ただ、これまで歩道を走っていた自転車が車道に多く出てくると、自動車の運転手からは結構、危険を感じるのではないのでしょうか。自転車が走ることでできる歩道もありますが、そんなに多くはありません。自動車の運転手が車道を走っている自転車に十分に気をつけなくてはならないとの思いを強く持ちました。

(文責 北橋地区交通安全会会長 根井勝広)